



大内中たより

令和4年4月12日 第2号

あ い さ つ き の 丘

【学校教育目標】
「あいさつ日本一を目指して」

令和4年度大内中学校入学式「校長式辞」

式辞

春の風が日一日と優しく感じられるようになり、新たな希望もえる季節となりました。今日の佳き日に、大内中学校学校PTA会長堀友昭様、学校運営協議会会長 加藤安明様、保護者の皆様のご隣席をいただき、入学式を挙げてきますことに感謝申し上げます。

59名の新入生の皆さん、入学おめでとうございます。皆さんの入学を職員、在校生一同心より歓迎します。

いよいよ「あいさつ日本一を目指す大内中学校」の生徒です。大内中学校の一員として、自ら進んで行く「あいさつ」で自分も学校も地域も家族も元気にするという覚悟をもち、希望とやる気、チャレンジ精神に満ち溢れたスタートを切ってほしいと思います。

さて、2月の入学説明会が紙上開催となりましたが、大内小の6年生より、次のような質問がありました。「小学校と中学校の一番の違いはなんですか」。質問の回答に悩みましたが、改めて小学校と中学校の違いについて考えさせられました。ありがとうございました。

中学校の生活・学習の主体は先生ではなく生徒自身です。もしかしたら、小学校では先生から言われて動く、親から言われて動く、周囲に合わせて動く、といった場面が多かったかもしれません。中学校では小学校よりも「状況を見て、自分で考え、行動しなければならない場面」が増えます。先生や親から言われて動くのではなく、その時、その場で、どのように行動するべきかを自分で考え、判断し、行動できるようになってください。

また、中学校では小学校の学びを土台にしてさらに学びが広がり深くなります。各教科、行事、生徒会活動、部活動など、たくさんの学びがあり、一人では身に付けることができない、社会で生き抜くための力、すなわち、知識・技能、思考力・判断力・表現力、課題対応力、社会適応力、豊かな人間性などを身に付けていきます。これこそが学校で学ぶ意味だと考えます。

「なぜ学校で学ぶのか」、学校で学ぶ意味を理解し、集団生活、他者との関わりの中で自分をみがき、時には自ら修正を加えながら、なりたい自分、夢や希望進路に迫る、という点が小学校との違いです。

大中学生は校訓、「自立」「協調」「躍進」のもと、あいさつや学習はもちろん、様々な活動に仲間と協力しながら、意欲的に取り組んでいます。今の大内中学校は、「明るいあいさつが響き合い、互いに尊重し合い、支え合う学校風土」が醸成され、生徒同士、生徒と教師の信頼関係が強固なものになっています。そのため、生徒会活動、行事、日々の授業では活発な話し合いや、協力して学び合う姿が随所に見られ、コロナ禍であるにもかかわらず、大内中学校では生徒同士の関係性に高まりが見られます。生徒による学校評価では学級や学年、学校の一体感が高まり、その集団の成長を通して自分自身の成長を実感する生徒がほとんどです。みんなのために頑張れる生徒が多く、学校としてあるべき姿が生徒たちの手で創られていることが大内中学校の誇りです。新入生のみなさん、どうぞ安心して、先輩たちや先生方についてきてください。

大内中学校での「学び」を進めるにあたり、一つお願いがあります。それは、「失敗を恐れず、チャレンジする」ということです。学びの過程において、いつもうまくいくとは限りません。そこには、数多くの失敗や挫折もあります。最初からできる人はいません。人はチャレンジと失敗を繰り返して成長していきます。失敗から学び、学んだことを実践する姿勢がとても大切です。失敗を恐れずチャレンジする、失敗をたくさん経験して、失敗をバネに一段階上の自分になる、という「たくましさ」を身に付けてください。

【裏面に続きます】